

石巻魚市場の復旧工事が進んでいます

～石巻市水産物地方卸売市場石巻売場建設の進捗状況～



石巻魚市場全景(平成26年6月23日撮影)

新石巻魚市場のイメージ図(全景)



石巻魚市場の旧施設は、昭和49年に建設され、上屋根の長さ(約650メートル)と水揚げ岸壁の長さ(約1,200メートル)は、いずれも日本一の長さを誇っていました。

現在は、仮設荷捌き施設での水揚げが行われています。



仮設荷捌き施設での水揚げの様子

新石巻魚市場のイメージ図(管理等)



新施設は、中央棟、東棟、西棟の3棟で構成。上屋根の長さは、旧施設の約1.4倍(約880メートル)となる予定です。国内のみならず海外への輸出も視野に入れた漁獲物の付加価値向上を実現する「高度衛生管理型施設」となります。



石巻市水産物地方卸売市場石巻売場建設事業工程表

	平成25年					平成26年												平成27年										
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
第一期工事						工事期間：9か月									仮使用荷捌き施設													
第二期工事																		仮使用荷捌き施設					本設荷捌き施設					
第三期工事						仮使用荷捌き施設													工事期間：10か月									

東棟外観(東側から撮影)



東棟外観(南側から撮影)



▲平成26年6月撮影

① 東棟

東棟は、海外旋網カツオゾーンです。大型選別機とベルトコンベアで、直接トラックに積み込みを行う荷捌き所になります。

7月末に完成予定で、その後は、仮設荷捌き施設に代わり、荷捌き施設としての仮使用が開始となる予定です。



新石巻魚市場のイメージ図(荷捌き室)

② 西棟

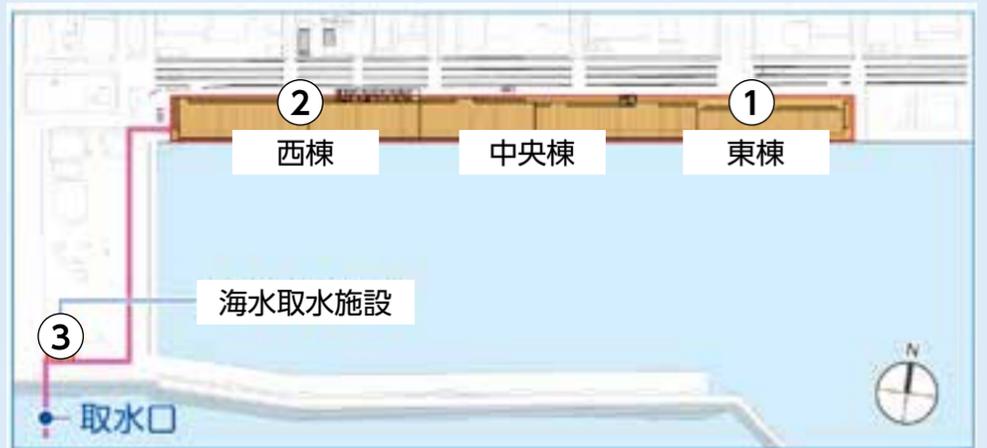
西棟は、沖合・近海小型底曳きゾーンです。

西棟建設予定地の西側では、地盤工事が行われています。平成27年3月の完成を目指しています。

東側には、仮設荷捌き施設が建てられており、平成26年9月から着工予定となっています。



▲平成26年6月撮影



③ 海水取水施設



水揚げされた魚等の洗浄等に使用される海水を取水する施設です。

▲平成26年6月撮影



海水は、地下に埋設されたパイプを通り、荷捌き施設へ送られます。